

良い子のみんな、
消防車の名前をつけてね



北条町駅に展示中の消防自動車の愛称を募集します。この消防車は 1500 リットルの水を運ぶことができ、消火栓や池・川がなくても、放水することができます。昨年末まで約 17 年間、活躍してきました。

北条鉄道の新しいキャラクターとして、防火意識の向上のためにも活躍してくれることを期待しています。

応募資格：保育園児・幼稚園児・小学生

応募期限：3/31（月） **発表：**広報かさい5月号

応募方法：消防車に付ける名前と、住所、氏名、電話番号、学校（保育園・幼稚園）名、小学生は学年をハガキに書いて応募してください。

問合・応募先：〒675-2395 加西市役所経営戦略室
☎④ 8700

ミニ鉄道まつり in 北条町駅

日時：3/20（木・祝） 11：00～15：00
場所：北条町駅
内容：鉄道模型、鉄道写真展、制服を着ての写真撮影会、ミニコンサート（公演時間：1部 11時、2部 14時30分）、外国屋台村（ベトナム料理フォーなど）

鉄道やバスを利用する日の名称募集

兵庫県では「鉄道やバスを利用する日」の名称を募集しています。毎月最終の金曜日を「鉄道やバスを利用する日」として、人や環境にやさしい鉄道やバスをもっと上手に利用してもらうため、県民の皆さんへ呼びかけていくものです。
利用する日：毎月最終金曜日（平成20年10月から）
応募資格：兵庫県在住者 **締切日：**3/31（月）まで
応募方法：兵庫県ホームページから「鉄道やバス」で検索。
問合先：兵庫県交通政策課 078-362-3884

神姫バス北条営業所が移転します

神姫バス北条営業所が4/1（火）、玉丘史跡公園の東（玉丘町748）に移転します。それに伴い、バス運行ルートやダイヤが変更になります。

<主なバス停の変更>

休止されるバス停：商工会議所前、銀行前

新設されるバス停：横尾（姫路線・社線）、北条営業所（移転先）、玉丘史跡公園

バス停名等の変更：現在の北条営業所
⇒横尾（大和線・コミュニティバス）

<主な路線別の変更>

路線名	ルート	ダイヤ
北条・姫路線	横尾経由で新北条営業所まで延伸	若干の変更あり
社線	横尾経由アスティア止め	変更なし
宝殿・高砂線	新北条営業所まで延伸	若干の変更あり
高速バス	アスティア止め	若干の変更あり
コミバス	変更なし	若干の変更あり
大和線	変更なし	若干の変更あり

問合先：神姫バス北条営業所 ☎④ 0056

プルマン市に行ってきます！



▲加西市中高生親善訪問団（敬称略）

左から、吉村未来（北条高）、岡香里（市民引率者）、藤原みずほ（北条高）、小林葉月（賢明女子学院）、甘中健登（泉中）、井上由莉香（加西中）、金川史帆（泉中）、八木智子（泉中）、玉置友耶（善防中）、中安勇気（善防中）、国本善防公民館長（市職員引率者）

プルマンの風景

米国プルマン市と加西市は、平成元年に友好都市提携を締結し、相互に親善訪問団を派遣し、両市の友好関係を深めてきました。訪問団員は、若い親善大使として立派に活動できるよう、現在英会話研修に熱心に取り組んでいます。
※この訪問団の旅費の一部には加西市人材育成基金が活用されています。



全国初！官民連携で温暖化ガス対策

加西市と韓国大手電機メーカー・サムスン電子の日本法人「日本サムスン」が廃食用油のリサイクル事業で提携しました。2月7日、日本サムスン(株)の東京本社内で、中川市長、方常源（バン・サウワン）常務取締役らが出席し、「廃食用油リサイクル事業の相互協力実施協定書」を締結。

この事業に必要なBDF（バイオディーゼル燃料）製造装置導入などの費用を、同社からCSR（企業の社会的責任）の一環として、ご支援いただくものです。

同社は、加西市と事業を行うことにより、社会貢献とともに、同社の経済活動から発生する二酸化炭素を削減することにつなげます。

BDF製造装置は、北条町駅に設置し、マルタ産業(株)が一般家庭や事業所から排出される廃食用油を回収・精製・販売します。4月から本格的にスタートし、公用車はじめ近い将来、北条鉄道で利用する予定です。

植物が原料のBDFは、二酸化炭素（CO2）排出がゼロ



▲協定を結び固く握手する、方常源常務（左）と中川市長

カウントである上、黒鉛が軽油の1/3～1/10、排気ガスに硫黄酸化物（SOx）を含まない等の利点があります。

調印後の記者会見で、中川市長は、「地球環境や温暖化対策の上では大きな意義のあること。このような官民連携が環境分野でさらに広がることを期待している。」と語りました。



15

神輿と屋台

最終回

～豪華に飾って神様にアピール～

第六巻民俗より



▲屋台の差し上げ（笠屋神明神社前）

住吉神社の節句祭には、神輿^{みこし}と屋台が登場します。神輿と屋台の形はよく似ていますが、その意味合いは大きく違ってきます。

神輿は「神の輿」つまり神様が移動時に使う神聖な乗り物（神座）で、屋台のように人が乗ることはありません。神輿が宮から出る時は「渡御」、宮へ戻る時は「還御」と呼びます。また、神輿の巡幸の先々で龍王舞が行われ場が清められるのも、神輿が特別なものであることを示しています。

屋台^{だし}は、山車^{やまこ}や山鉦とも呼ばれるように、神様が降臨しやすい山や高い樹を模した飾りから派生したと言われ、その後も趣向を凝らし飾られ、現在のような形になっています。元々神様に供える飾りなので神輿のように神様が乗ることはありません。その屋台が競うようにきらびやかなのは、豪華に飾りたてた屋台を高く差し上げた姿を神様に披露し歓待の気持ちを示して、より大きな福を得ることを望んだためではないでしょうか。